



黒井秋夫さん

全国青年ジャンボリーが開催されました！！！

医療サービス課

2年弱の準備期間を経て、「第41回全国青年ジャンボリーIN兵庫」が11月27～29日に神戸市で開催されました。

そもそも「全国青年ジャンボリーとは？」ですが、「ひとりぼっちの青年職員をつくるらしい」を宣言葉と共に学習・交流する活動として、2年に一度、民医連で働く青年職員が一堂に集まる大型交流企画です。

参加者の声

医療サービス課

峯松 佳世

私は今回、東海・北陸地協の事務局として参加しました。開催地転三転、実行委員と全

よい軟弱な皇軍兵士はいないと、日本兵のPTSDをひた隠しにしてきた。そういった事実を発信するため、黒井さんは「PTSDの復員日本兵と暮らした家族が語り合う会」を2018年に立ち上げ、2020年には「交流館」を開設しました。

現在は全国で講演会を行なうなど、さまざまに活躍をされています。語られなかつた復員日本兵・父たちの思いを掘り起こし、無念であつただらう父たちの心の叫びと家族の思いを話していただきます。

二度と戦争をしない日

市と住民が社会保障の充実を求めて懇談する自治体キャラバンが10月末～11月に行なわれました。岩倉市での懇談について報告します。

介護を受けやすく

岩倉介護保険サービスセンターチあき

吉田 智子

すこやかタクシーアイ

セントラーチあき

の申請について確認しま

ターやでは自然災害を体

感し、備えることの大

切さを強く感じること

ができました。学びを

日々の防災行動につな

げていきたいです。

特養ちあき第二

毛井 小夏

阪神淡路大震災を通じて、今後の防災、被

災時の課題について全

国各地から集まつた多

職種のメンバーと意見

を出し合い、とても深

い時間を過ごしました。今後いつ訪れるか

分からない南海トラフ

地震へ向けて、日ごろ

分からぬ防災点検などに

尽力したいと思います。

生活保護について

医療福祉相談室

佐藤 和栄

生活保護について発言

しました。ホームレス状

態の方が生活保護の申請

を希望して何度か市に相

談したもの、入所でき

る施設が見つからず申請

ができなかつたという事

例を経験したため、困

っている人に寄り添つた支

援をお願いしました。

担当者からは、「ホー

ムレス状態の方から生活

保護の相談を受けた場

合、まず住まいを確保す

ることが大事だと考へて

おり、愛知県が認める無

料低額宿泊所への入所を

進めている。施設の定員

に制約があるものの、ま

が困難である今こそ、み

た」と言っていますが、

陰でこうして何年も自治

体にお願いをしている

方がいるからこそだと

学びました。声を上げ続

けているそうです。

が困難である今こそ、み

た」と言っていますが、

陰でこうして何年も自治